



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 平成29年1月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	7,756	26.9	719	221.1	654	302.3	465	650.3
28年2月期第3四半期	6,114	14.4	224	—	162	—	62	—

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 382百万円 (762.4%) 28年2月期第3四半期 44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	92.54	—
28年2月期第3四半期	14.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第3四半期	9,614	2,508	26.1	478.62
28年2月期	8,995	1,824	20.3	423.27

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 2,508百万円 28年2月期 1,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,004	14.8	834	66.9	764	83.6	555	128.2	109.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成29年1月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期3Q	5,248,444 株	28年2月期	4,318,444 株
29年2月期3Q	8,307 株	28年2月期	7,332 株
29年2月期3Q	5,034,012 株	28年2月期3Q	4,311,663 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢の改善を背景に個人消費は持ち直しつつあり、アジア向けを中心とした輸出の伸びや堅調な設備投資の増加を背景に、全体としては緩やかな回復基調が見られました。

一方、海外の経済情勢は、米国においては、企業業績と消費マインドの改善、次期政権への政策期待の高まりもあり、緩やかな景気回復が継続し、ユーロ圏経済についても、全体的には緩やかな景気回復基調が継続しました。アジア・新興国については、一部の国では持ち直しが見られたものの、多くの国では経済成長の減速が続きました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、引き続き企画提案型営業を推進し売上拡大に努めるとともに、生産効率の改善にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高7,756百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益719百万円（前年同期比221.1%増）、経常利益654百万円（前年同期比302.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益465百万円（前年同期比650.3%増）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

国内の化粧品受託製造市場は、化粧品メーカーによるアウトソーシングの拡大、異業種企業による化粧品市場参入などを背景に、堅調に推移しております。

このような事業環境のもと、当社の化粧品事業は、訪日外国人増加によるインバウンド需要、アジア・アセアン市場における日本製化粧品の需要拡大、更には旺盛な新製品関連の受注に加え、生産効率の改善等の諸施策が貢献したことなどを背景に、順調に推移いたしました。製品別では、主にアイシャドウ・チーク類、ファンデーション類、口紅類、白粉・打粉類、クリーム類等が、前期を大幅に上回ったことにより前年同期と比較して増収・増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,587百万円（前年同期比31.9%増）、営業利益は640百万円（前年同期比188.9%増）となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S. A. S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州経済は、全体的には、雇用情勢の緩やかな回復とともに個人消費も緩やかに増加し、景気の回復基調は継続しております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、前年同期と比較して化粧水の売上および主力の医薬品が伸びたことにより、増収・増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,293百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は68百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、618百万円増加し、9,614百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が614百万円、固定資産が4百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が191百万円、受取手形及び売掛金が324百万円、たな卸資産が53百万円、その他が44百万円増加したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、有形固定資産のその他が147百万円、投資有価証券が49百万円増加し、建物及び構築物が166百万円、投資その他の資産のその他が27百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、64百万円減少し、7,106百万円となりました。負債合計の減少は、流動負債が40百万円増加し、固定負債が105百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、未払法人税等が29百万円、賞与引当金が123百万円、その他が109百万円増加し、支払手形及び買掛金が111百万円、短期借入金が110百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が64百万円、その他が43百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、683百万円増加し、2,508百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が、第三者割当増資322百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益465百万円等により766百万円増加し、その他の包括利益累計額が83百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成28年7月12日に公表いたしました平成29年2月期の通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	878,205	1,069,462
受取手形及び売掛金	1,767,380	2,091,929
たな卸資産	1,348,918	1,402,559
その他	231,195	276,136
貸倒引当金	△1,821	△1,966
流動資産合計	4,223,879	4,838,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,050,225	1,883,615
機械装置及び運搬具(純額)	500,834	502,491
土地	1,301,892	1,300,149
その他(純額)	135,808	283,295
有形固定資産合計	3,988,761	3,969,551
無形固定資産	245,955	235,120
投資その他の資産		
投資有価証券	318,830	368,344
その他	282,366	254,581
貸倒引当金	△64,177	△51,454
投資その他の資産合計	537,020	571,471
固定資産合計	4,771,736	4,776,143
資産合計	8,995,615	9,614,265
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,313,212	1,201,501
短期借入金	1,681,579	1,571,304
未払法人税等	160,791	190,415
賞与引当金	53,632	176,763
その他	907,879	1,017,610
流動負債合計	4,117,095	4,157,596
固定負債		
長期借入金	2,506,013	2,441,172
役員退職慰労引当金	150,090	150,090
退職給付に係る負債	95,037	98,588
その他	302,608	258,808
固定負債合計	3,053,749	2,948,659
負債合計	7,170,844	7,106,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	552,749	714,104
資本剰余金	781,854	943,209
利益剰余金	382,428	826,735
自己株式	△2,682	△3,288
株主資本合計	1,714,349	2,480,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,660	156,282
繰延ヘッジ損益	△82	—
為替換算調整勘定	△10,156	△129,032
その他の包括利益累計額合計	110,421	27,249
純資産合計	1,824,771	2,508,010
負債純資産合計	8,995,615	9,614,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	6,114,829	7,756,836
売上原価	5,096,644	6,126,979
売上総利益	1,018,185	1,629,857
販売費及び一般管理費	794,022	910,171
営業利益	224,162	719,685
営業外収益		
受取利息	779	484
受取配当金	5,280	6,007
その他	8,734	9,437
営業外収益合計	14,794	15,928
営業外費用		
支払利息	63,576	51,621
株式交付費	—	19,278
その他	12,630	9,986
営業外費用合計	76,206	80,886
経常利益	162,750	654,727
特別利益		
固定資産売却益	97	935
特別利益合計	97	935
特別損失		
固定資産除却損	1,888	467
工場閉鎖損失	3,066	—
和解金	15,296	—
特別損失合計	20,251	467
税金等調整前四半期純利益	142,596	655,195
法人税、住民税及び事業税	108,278	273,844
法人税等還付税額	△19,801	△12,103
法人税等調整額	△7,967	△72,408
法人税等合計	80,509	189,332
四半期純利益	62,087	465,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,087	465,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	62,087	465,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,988	35,621
繰延ヘッジ損益	686	82
為替換算調整勘定	△61,389	△118,876
その他の包括利益合計	△17,714	△83,172
四半期包括利益	44,373	382,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,373	382,690
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月10日付で、株式会社ちふれ化粧品、三菱鉛筆株式会社及び株式会社井田ラボラトリーズから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が161,355千円、資本準備金が161,355千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が714,104千円、資本準備金が943,209千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,907,098	1,207,730	6,114,829	—	6,114,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	88,226	1,556	89,783	△89,783	—
計	4,995,325	1,209,287	6,204,613	△89,783	6,114,829
セグメント利益又は損失(△)	221,719	△3,808	217,910	6,251	224,162

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,251千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,464,982	1,291,854	7,756,836	—	7,756,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	122,438	1,569	124,007	△124,007	—
計	6,587,420	1,293,423	7,880,843	△124,007	7,756,836
セグメント利益	640,611	68,012	708,623	11,061	719,685

(注) 1. セグメント利益の調整額11,061千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。